

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	ものづくり大学
設置者名	学校法人ものづくり大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
技能工芸学部	総合機械学科	夜・通信	0	0	48.5	48.5	13	
	建設学科	夜・通信			76.5	76.5	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.iot.ac.jp/faculty/sllabus/index.cgi

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ものづくり大学
設置者名	学校法人ものづくり大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.iot.ac.jp/guide/outline/organization/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	日野自動車（株） 代表取締役会長	2019.4.1 ～ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	埼玉県経営者協会 会長	2019.4.1 ～ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ものづくり大学
設置者名	学校法人ものづくり大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 <ol style="list-style-type: none"> ①作成年間スケジュールの作成、決定 ②時間割の決定 ③シラバス記入方法の説明会の開催 ④シラバスの入力 ⑤シラバスの相互確認 ⑥シラバスの修正後、完成 ・授業計画の作成・公表時期 <ul style="list-style-type: none"> 12月 シラバス修正、完成 1月 次年度在学生(新2~4年)への公表 4月 新入生、学外者への公表 	
授業計画書の公表方法	https://portal.iot.ac.jp/campusweb/slbssrch.do
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 <p>単位授与については、学則に「試験」、「成績評価」を「ものづくり大学履修規程」に定め、履修ガイドに引用明記し、学生に配布するとともに、教職員にも徹底し、厳正に適用している。また、授業科目ごとに授業の概要および到達目標、準備学修(予習・復習)、授業の内容、教科書、参考書、主な実験・実習機器、成績評価の方法、履修上の注意事項をシラバスに明記している。なお、その適用にあたっては、クォータごとに学科会議において全学生の成績を確認するなど厳正な運営に努めている。</p> 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・GPA等の客観的な指標の具体的な内容

平成25年度(2013年度)よりGPAを導入している。成績評価(S、A、B、C、E)にそれぞれGP(Grade Point)を定め、それに各単位数を掛けた値の合計を履修登録単位数で割った平均値である。従って、この平均値には履修登録科目全体が含まれているため、履修登録科目を多くしても、不合格科目が多いとGPAの値が小さくなる。ただし、単位認定した科目「N」はGPAの算出には含まない。

【成績評価GP】S=4、A=3、B=2、C=1、E=0

【GPAの算出方法】

各年度のGPA = $\frac{\text{「当該年度(当該クォータまで)に履修した科目のGP} \times \text{単位」の合計}}{\text{当該年度(当該クォータまで)に履修登録した単位数の合計}}$
 通算GPA = $\frac{\text{「今までに履修した科目のGP} \times \text{単位」の合計}}{\text{今までに履修登録した単位数の合計}}$

・客観的な指標の適切な実施状況

各授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示しているほか、各授業の初回に担当教員から説明を行うなどして、学生への周知徹底を図っている。成績評価結果を得点化し評価値を算出することで席次を確定しており、厳正な成績評価に努めている。また、成績質問期間を設けており、学生が成績評価結果に質疑のある場合には所定の用紙で質問申請をすることができ、厳正な成績評価とともに、成績結果に対する学生の理解を深める工夫がなされている。

客観的な指標の算出方法の公表方法

<http://www.iot.ac.jp/faculty/information/grading.shtml>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・卒業の認定に関する方針の具体的な内容

4年以上在学し、130単位以上を取得し、「卒業研究および制作」を含む各学科の指定する科目を修了したのについて認定し、「学士(技能工芸学)」の学位を授与することが「ものづくり大学学則」第39条に明記され、卒業認定に対する具体的な方針は、ディプロマ・ポリシーに明記されている。

・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況

各学科で卒業判定会議を開催して判定し、結果は教務委員会での審議を経て教授会に提案され、その審議結果を踏まえ学長が卒業を認定している。なお、「卒業研究および制作」は必修であり、卒業研究論文あるいは制作物を提出し、公開の成果発表会において発表を行い、審査に合格しなければならない。

卒業の認定に関する方針の公表方法

<http://www.iot.ac.jp/faculty/information/grading.shtml>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	ものづくり大学
設置者名	学校法人ものづくり大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi
収支計算書又は損益計算書	http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi
財産目録	http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi
事業報告書	http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi
監事による監査報告(書)	http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2019年度事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法: http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi
中長期計画(名称:第2次中長期経営計画 対象年度:2017~2023年度)
公表方法: http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/outline/report/index.cgi

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/evaluation/valuation/index.cgi

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/guide/evaluation/authorization.cgi

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 技能工芸学部
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iot.ac.jp/guide/idea.shtml) (概要) 高度な技能と技術を融合した実践的な技能工芸に関する教育及び研究を行い、加えて豊かな社会性・創造性・倫理性を身につけた技能技術者を育成することを目的とし、あわせてものづくりに対する社会的評価の向上と世界の発展に貢献することを使命とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iot.ac.jp/guide/idea.shtml) (概要) 所定の期間在学し、本学の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.iot.ac.jp/guide/idea.shtml) (概要) ものづくりに直結する実技・実務教育を重視するとともに、高度の専門能力と創造性ならびに豊かな教養と高い倫理性を兼ね備えた人材を育成するカリキュラム編成とする。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.iot.ac.jp/guide/idea.shtml) (概要) ものづくりの「技」と「心」を併せ持ち、高度の技能技術を追究する「テクノロジスト」を育成します。ものづくりへの強い情熱を持ち、科学技術創造立国を支えるテクノロジストとして、新しい価値観を創造するものづくりと産業の進展に貢献する高い意欲を持った方を求めています。 高等学校等で習得した基礎知識(数学、英語、国語、理科)、学力の3要素(※)、ものづくり分野での実績やものづくりへの熱意等を多角的に評価するため、多様な入試制度を用意しています。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <http://www.iot.ac.jp/guide/outline/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
技能工芸学部	—	26人	9人	2人	1人	0人	38人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		356人					356人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法 http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/faculty/organization/manufacture/index.cgi http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/faculty/organization/building/index.cgi					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業方法の工夫・開発のため授業見学を奨励している。授業を見学し、授業の良い点等を学内共有している。そして、全学的に秀でた授業方法を共有することで教育力の向上に努めている。また、教員の教育力向上のため年4～5回FD研修会を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
技能工芸学部	300人	333人	100%	1,200人	1,170人	97%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
技能工芸学部	237人 (100%)	7人 (3.0%)	217人 (91.6%)	13人 (5.4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	237人 (100%)	7人 (3.0%)	217人 (91.6%)	13人 (5.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 清水建設株式会社、シャープ株式会社、大和ハウス工業株式会社				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
技能工芸学部	313人 (100%)	203人 (64.9%)	29人 (9.3%)	71人 (22.7%)	10人 (3.1%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画（シラバス）の作成過程 <ol style="list-style-type: none"> ① 作成年間年間スケジュールの作成、決定 ② 時間割の決定 ③ シラバス記入方法の説明会の開催 ④ シラバスの入力 ⑤ シラバスの相互確認 ⑥ シラバスの修正後、完成 ・ 授業計画の作成・公表時期 <ul style="list-style-type: none"> 12月 シラバス修正、完成 1月 次年度在学生（新2～4年）への公表 4月 新入生、学外者への公表
--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学修の成果に係る評価 <p>単位授与については、学則に「試験」、「成績評価」を「ものづくり大学履修規程」に定め、履修ガイドに引用明記し、学生に配布するとともに、教職員にも徹底し、厳正に適用している。また、授業科目ごとに授業の概要および到達目標、準備学修（予習・復習）、授業の内容、教科書、参考書、主な実験・実習機器、成績評価の方法、履修上の注意事項をシラバスに明記している。なお、その適用にあたっては、クォータごとに学科会議において全学生の成績を確認するなど厳正な運営に努めている。</p> ・ 卒業又は修了の認定 <p>4年以上在学し、130単位以上を取得し、「卒業研究および制作」を含む各学科の指定する科目を修了したものについて認定し、「学士（技能工芸学）」の学位を授与することが「ものづくり大学学則」第39条に明記され、卒業認定に対する具体的な方針は、ディプロマ・ポリシーに明記されている。</p> <p>各学科で卒業判定会議を開催して判定し、結果は教務委員会での審議を経て教授会に提案され、その審議結果を踏まえ学長が卒業を認定している。</p> <p>なお、「卒業研究および制作」は必修であり、卒業研究論文あるいは制作物を提出し、公開の成果発表会において発表を行い、審査に合格しなければならない。</p>

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
技能工芸学部	総合機械学科	130 単位	①有・無	198 単位
	建設学科	130 単位	①有・無	202.5 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <http://www.iot.ac.jp/guide/institution.shtml>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
技能工芸 学部	総合機械 学科	880,000 円	300,000 円	320,000 円	
	建設学科	880,000 円	300,000 円	320,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
概要) 専任教員が中心となり、その指導のもと教務職員、非常勤講師及びSA・TAと連携して、それぞれの授業に必要な準備、授業のサポートを行っている。また、教務系の職員が学修サポートに有用な掲示や通知などを工夫して行い、学生等からの要望にも応えることとしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
概要) 「就業基礎講座」を開講するとともに、学生課が窓口となり「就職セミナー」、「合同企業説明会」「OB・OG交流会」を開催し、SPI対策、履歴書・志願理由書の書き方等を指導するとともに、個別の学生相談にも対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 2人の有資格カウンセラーを配置した「ふれあいルーム (学生相談室)」を設置して、週5日間、電話やメールによる相談や面談によるカウンセリングが受けられる体制を整えている。 また、年に1度、全学生を対象に健康診断を実施するとともに、その診断結果を校医に見てもらい体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : http://www.iot.ac.jp/mric/
--